

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	萩市			代表者名	市長 田中 文夫
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総合政策部DX推進室	連絡先電話番号	0838-21-5477
担当者役職	室長補佐	担当者氏名	山本 剛	連絡先E-mail	
住所	758-8555 山口県萩市大字江向510番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進員研修・課長級職員向け研修
概要	「DX推進員」に対する「業務改善ワークショップ」の開催 「課長級職員」に対する「DXを成功させる組織作りについて」を学ぶ		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 プロジェクトマネジメント支援		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月8日	事前打合せ(オンライン)	10時00分	11時00分	
				活動時間（分）	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	令和4年度から継続して支援をお願いしている「DX推進員研修」「課長級職員向けDX研修」の事前打ち合わせでした。今年度行いたいワークショップやグループワークについて前提の資料をお渡したところ、具体的な研修資料案を準備いただいたため、スムーズに協議が進みました。
アドバイザーへの要望事項	第二回研修の開催に向け、引き続きご支援を賜りたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	2人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	2	0	0
			0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	萩市では令和3年度7月にDX推進の専門部署を設置し、「DXによる幸せなまちづくり」を目指してDX推進に取り組んでいる。現時点では、DX推進室が中心となり、国策定の自治体DX推進計画に掲げられた内容を主に取り組んでいるところだが、各部局での自発的な取組は過去の本事業の取組により徐々に広がりを見せてはいるものの、まだまだ不足しており、職員のさらなる育成（DXマインド醸成・ITリテラシー向上）が課題となっている。なお、受講対象の「DX推進員」については、全庁的にDX推進を図ることを目的に、各部局からの推薦・立候補により毎年度配置をしており（任期1年）、DX推進に有益な情報の提供、デジタルツールの先行利用、DX関連研修の案内等を行っている。
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	令和8年度末までに、デジタル技術の活用による「オンライン申請の推進」と「新たなワンストップ窓口の実現」を通じ、市民サービスの利便性を向上させる。 具体的には、オンライン申請可能な手続きの拡大、市民が時間や場所を選ばずに手続きを完結できる環境を拡充する。併せて、窓口業務の効率化と市民の負担軽減を図るため、市民一人当たりの平均待ち時間の短縮を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	主催者：DX推進室 想定受講者：DX推進員 20名程度、課長級職員 60名程度（午前30名・午後30名） DX推進員研修では、自身の業務課題を1つ選び、具体的な改善計画書を完成させて持ち帰るワークショップの講師を担っていただく。本支援により本市が保持しているデジタルツールへの理解と積極的な利用促進を図ることを目的としています。 課長級職員研修では、部下からのDX提案を具体的な計画に落とし込み、失敗のリスクを管理しながら成功に導くための基本的な考え方と手法をグループワークを取り入れながら講義いただくことにより、成功までのプロセスを学んでいただきDX推進への障壁を無くしていただきたい。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	事前打ち合わせのため、まだ具体的な成果物はございません。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	事前打ち合わせのため、まだ具体的な成果物はございません。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	2回目の支援において、DX推進員研修を開催予定	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのため、アンケートは取っていません。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
	事前打ち合わせのため、まだ具体的な計画はございません。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	公共サービスのデジタル化やデジタルを活用した地域産業課題に対する施策を立案しやすくする環境の整備を目指すことにより、行政手続きの時間削減や、地域事業者の競争力向上による地域活性化に繋げる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

